



発行：十日町市中魚沼郡医師会

発行日：令和2年4月発行

第213号

しぜんききょう 自然気胸（イケメン気胸）

十日町地域産業保健センター

登録産業医 佐々木 公一 先生

気胸とは、何らかの病因で肺に穴が開き（穿孔）、漏れた空気が貯まって患側肺が圧迫され（萎縮、虚脱化）、呼吸ができなくなる病態のことです。

今回のテーマ「**自然気胸**」は紙風船のような薄く膨らんだ肺の一部が破れて発生する気胸に変わりありませんが、20歳～30歳代の痩せた長身の男性に好発する、という特性があり、しかもその発生機序、病因について解明されていないことが多く、病因の明らかな他の気胸と区別して、**特発性自然気胸**と分類されることがあります。（イケメン気胸と記憶しても良いでしょう。）

【**症状**】：日常生活の中で、突然に発生する胸・背部の強い痛み、空咳の初発症状から始まり、呼吸困難へと続き、重症例では血圧低下、ショック状態となります。

【**緊急処置**】：イケメン気胸の特徴、急速に進行する呼吸障害を認めたら、先ず自然気胸の発生を疑い、救急病院への搬送を急ぎます。（注意！加圧人工呼吸補助は気胸を増悪させる恐れがあるため原則禁忌です。）

【**診断**】：救急搬送病院での胸部レントゲン、CT検査、胸腔試験穿刺検査などの確定診断は比較的容易であり、酸素マスク吸入、輸液などの全身管理を行いながら、次の治療ステップにすすむこととなります。

【**治療**】：軽度の自然気胸では短期入院・安静を保ちながら、胸腔脱気術、胸腔ドレナージなどの処置で治癒することもあります。再発例、両側気胸、肺実質出血などの重症例では全身麻酔・開胸下の肺縫縮術、肺切除術などの根治手術の適応となります。（近年では手術侵襲の軽減を目的に胸腔鏡下手術もおこなわれています。）

（治療法の詳細省略）

【**予後、再発予防**】：診断から治療までの流れが迅速、円滑にすすめば、自然気胸の予後は良好ですが、長期にわたる定期的胸部CT検査は必須です。日常生活でも高い気道内圧変動を伴うバンジージャンプ、スキューバダイブ、金管楽器演奏などを避けるほか、咳嗽反射を誘発する喫煙習慣を断つことも重要です。